

## 令和7年5月例会報告

- 日時 5月28日 (水)
- テーマ 印旛沼捷水路山田橋から  
ナウマン象発掘地を遠望
- 集合 内郷児童公園
- 集合時間 9時00分
- 参加者 23名
- 距離 19キロ
- 解散 15時30分
- 案内役 リーダー：永吉 信行  
サブリーダー：鈴木 正一
- コース  
①内郷児童公園⇒②京成酒々井駅⇒③ローソン平賀学園台入口店⇒④印西市役所平賀出張所⇒⑤第六天・ファーマーズマーケットグリーブ(昼食)⇒⑥山田橋・ナウマン象発掘案内板⇒⑦双子公園⇒⑧岩名運動公園⇒⑨内郷児童公園



京成佐倉駅北口の内郷児童公園集合。

約19キロといつもより長めのコースに23名の皆さんが挑戦。リーダーは永吉さんです。



大佐倉駅の所でトラブル発生。後続組が待てど暮らせど来ない！！  
先頭と離れてしまったため、駅前で右折する所を直進してしまい、迷子に・・・。  
今回のリーダーは歩くスピードが速く（本人は普通に歩いているだけ・・・）、付いていくのが大変！



本佐倉城址を右に見ながら、京成酒々井駅を目指します。



途中にあった「新堀の双体道祖神」。  
祠の中には、右の写真の男女のカップル像が祀られています。男像の右手が女像の肩にかけられ、その手を女像の右手が握っています。こうした双体道祖神は酒々井町に9体ありますが、全国的にも大変めずらしいとされています。  
双体道祖神は縁結び、夫婦和合、子宝授けの神さまとして、本来の道祖神信仰が変形した性神的要素を多分に含んで信仰されてきたようです。



京成酒々井駅の花壇の前で一休み。



京成酒々井駅を出発してしばらく歩くと、左手に順天堂大学が見えてきました。



印西市役所平賀出張所。出張所にしてはすいぶん立派な建物！！



昼食休憩（農産物直売所ファーマーズマーケットグリーブにて）。



昭和41年6月、印旛沼用水路工事現場にて発掘。

ナウマン象については、案内板の記載を引用します。

今から1万年前まではアジア大陸で生息されていた。印旛沼で発掘されたことから考えら

れることは、

●アジア大陸と陸続きであった。

●発見された地層から沼地は当時からあった。

●ナウマン象は水を飲みに沼に近寄り、泥水にはまつた。



山田橋からナウマン象発掘地を眺める。



当日は時間の関係で行きませんでしたが、ここが発掘場所です（下見の時に見学）。



双子公園にて。

この後、岩名運動公園を経て、解散場所の内郷児童公園まで戻りました。  
途中で帰られた方は3名のみ。20名が19キロを歩き抜きました。なお、女性14名は全員が完歩でした。



今月の反省会は、京成佐倉駅前の「夢庵」。 お疲れさまでした！！